

2011年4月25日(水)発行 VOL33

発行者:「九条の会」事務局 ホームページアドレス:<http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>



みなと医療生協「九条の会」 九条ねっと

3・11『さようなら原発集会 In 愛知』に 5000 人！ みなと医療生協九条の会からも多数参加!!

「3・11さようなら原発in愛知 明日につなげる大集会」に、
みなと医療生協職員や組合員さんが多数参加しました。

みなと医療生協九条の会以外でも中村九条の会など地域の九条の会の参加もありうれしく思いました。午後の大集会では5000人がビッグフラッグ(3/4の健康フェスタでみんなでメッセージを書いた)を掲げ、さようなら原発をアピールしました。テレビ局のセスナなどが上空を取材しました。松田みゆきさんがゲストトークを行い、「3.11 原発事故で日本の政府や大企業やマスコミはうそを言っていることがわかった、原発反対の仲間とこの時間を共にできて嬉しい、原発ノーの熱く強い気持ちと放射能汚染を未来に残さないために力をあわせたら脱原発は必ず実現できます。」と話されました。

14時46分に鎮魂と復興を願う黙祷をしました。

15時からは栄コースと中部電力コースにわかれてパレードしました。みなと医療生協九条の会は、職員と組合員さんで「みなと医療生協九条の会タペストリ」+横断幕「原発いらない!」を持ち、栄コースの沿道の若者にみえるように歩きました。何人かタペストリの写真を撮っていました。ねこの着ぐるみの人が「原発いらニャー!」と叫ぶとみんなも「いらニャー!」と応じました。私の3歳の娘も「いらニャー!」叫びスキップしながら楽しく歩いていました。私は、勝手に作成した「みなと医療生協九条の会オリジナルTシャツ」9ティーを着て、野9帽をかぶり「原発いらニン」アピールしました。

私は栄の道路を歩くのはイラク戦争反対パレード以来ですが、少し晴れ間の見えた空のもと未来の若者達に清々しく脱原発をアピールできたと思いました。私の娘は、並んでいた屋台で自分で選んで買った「PIECE バッチ」「原発Noバッチ」をつけて、アイレンジャーなる戦隊もの着ぐるみの人達と記念写真

真を撮って大満足していました。

放射能から子ども達をまもるために除染活動や移動保育など市民の取り組みが行われていますが、行政の足は重くまだまだ思うように進んでいないのが現状です。子ども達のがびのびと笑顔溢れる環境を創っていくことが我々の責務だと思います。そのために、引き続き脱原発・反核を訴え、憲法九条を守る運動をみんなで展開していきましょう。行動参加のみなさんお疲れ様でした。

(みなと医療生協「九条の会」事務局 中村博雄)

原発はなくせる! 力強いパレードと共に

みなと医療生協九条の会も賛同団体となった「3・11明日につなげる大集会」に5000人の一人として参加でき感謝します。

みなと医療生協のみんなも一緒に製作した縦30メートル、横20メートルのビッグフラッグが舞台正面から私たち参加者の手によって頭上を大きく覆い、その上空をヘリコプターやセスナ機が舞うイベントが行われ大きな感動につつまれました。

14時46分、参加者全員が立ち上がり行った追悼の黙祷には、脱原発を誓う思いを込めました。

松田みゆきさんと中根佳子さんの対談では、「大震災の真実を知ろう」「みんなが行動に立ち上がれば、原発はなくすことが出来る」とよびかけられ、原発なくそうの横幕とタペストリーを持ってパレードを行い、力強く思いました。

(みなと医療生協「九条の会」事務局長 奥村一平)



△会場で集会参加の皆で記念撮影

今の憲法を巡る情勢を考える

シリーズ～考・憲法①～

みなと医療生協「九条の会」会長 江間幸雄

憲法を学び直そう！3・11と憲法を考える

最近の民主党政権の政治姿勢を見ていると、国民の立場には全く立っていない、すっかり財界に取り込まれてしまっている哀れな姿をさらけ出していると思えない。「社会保障と税の一体改革」と銘打って、ひたすら消費税増税に突き進んでいる。また「福島原発」の真相解明、総括もなされていない中で、「大飯原発再稼働」を承認しようとしている姿は、国民の安全は二の次で、「原発」を何とか稼働させようとする電力会社の下僕になり下がったと思えない。これらの姿は、昨年3月11日の大震災と原発事故に対して、政治がどのような責任を取り、どのような姿勢で復興や、原発事故の収束に向かって取り組んでいくのかという姿は全く見えてこない。

私達はもう一度、3・11を振り返り、何を基準にして復興と「原発事故」を解決すべきか考える必要がある。

東日本大震災の被災地は、戦後、特に小泉自公政権以来政府が進めてきた、新自由主義にもとづく「構造改革」路線の犠牲になってきた地域である。ここでの災害からの復興は従来の路線から決別し、日本国憲法にもとづく、生存権、教育を受ける権利、労働権などを補償する地域住民の立場に立ったものにならなければならない。

「原発」は何よりも、国民の平和のうちに生きる権利を侵害するものであり、核兵器開発につながる危険性もあり、憲法前文と、第九条に抵触するものである。ヒロシマ、ナガサキ、ビキニと再三放射能被曝を受けた国民として、「原発」「核」は道義的にも、倫理的にも受け入れがたいものである。

3・11以後日本の国民の中には「お互い様」「みんなで助け合おう」という空気が広まっているが、それが一方では一種の自粛ムードとなって理不尽なものに対して正当な「怒り」をあらわし得ない面も現れている。

さらに危険なのは、政治の閉塞感を一気に打ち破ろうと、過激な言辞を振りまき、敵をつくり、それを徹底的に

糾弾することで庶民の共感を得ようとする一連の動きである。大阪の橋下市長に代表される「維新の会」「石原新党」などであり、大村知事、河村市長なども同調しようとしている。しかし彼らの主張していることは、新自由主義の焼き直しに過ぎなく、国民の立場に立った問題の解決にはなっていない。その上橋下市長や石原知事などは露骨に憲法改定を主張し、特に九条に敵意をあらわにしている。自民、民主も改憲に動き出しており、憲法問題は緊急の課題になってきている。

私達は、もう一度「日本国憲法」の精神に立ち返って、3・11問題を考えると同時にいかなる改憲論にも反対を貫いていく決意である。

=これまでの取り組み=

■2011年12月20日

恒例！「平和の夕べ」に150名の参加

メインは放射線科・南保課長の「福島原発支援」の話。現在の福島原発の状況と支援に関して詳細に報告して頂きました。他にも初登場の合唱団「歌やあせ2011」が会場を盛り上げ、医局合唱団は新曲に挑戦。平和だからできる「好きなこと」、改めて憲法九条の価値を再認識しました。

■2012年2月5日

病院と南郊公園周辺の放射線量を測定！

(ヘルスネットでも紹介されました)

協立総合病院と南郊公園周辺、熱田区内学校の放射線量を測定してみました。放射線量の値は問題ありませんでしたが、公園の砂場や小学校運動場が比較的高くなりました。

=これからの取り組み=

■5月29日(火)学習会

テーマ:憲法九条の立場を投げ捨てた3・11大震災・原発事故以後のマスコミ報道

講師:大西五郎さん

元報道記者、日本ジャーナリスト会議東海地区代表
著書多数

■6月 平和の夕べ《予定》

医局合唱団ももちろん登場予定。詳細は追ってお知らせします。

